

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援さくらんぼ天祐		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 2日		2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	2025年 12月 2日		2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童にとって安全でわかりやすく構造した環境を作っており、清潔で心地よい空間を提供できている。	ミーティングを通して、児童にとってわかりやすい空間を作るために情報交換を密に行っている。 ヒヤリハット報告で情報交換を行い、安全な空間を提供できるよう努めている。	転んだ際の万が一に備え、安全な環境づくりを再検討していく。
2	ひとりひとりの児童の特性を理解し、スタッフ一丸で児童に合った支援を行っている。	スタッフ全員への情報共有ができるよう、ミーティングの実施、議事録の作成、LINEでの情報共有を密に行っている。	児童の特性を理解したうえで、よりよい支援が行えるよう研修等の参加を増やしていく。
3	相談・連絡しやすい環境づくりを行っている。	連絡帳や送迎時の情報伝達に加え、SNS(インスタグラム)を通して児童の様子がわかるよう努めている。 LINE等でも、気軽に連絡・相談ができるよう努めている。	引き続き、相談・連絡をとりやすい環境づくりを行っていく。 インスタグラムの投稿頻度を維持していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流が難しい	児童の特性もあり、町のお祭り等の利用が難しい。	交流のための方法を模索する
2	家族参加型の活動ができていない	時間と場所の確保が難しい。	親子、兄弟姉妹が参加できるイベントを検討する際は、広い別の場所を検討する。
3			